

## 2 総務費 1 総務管理費

### 1 市バス運行業務委託料

民間の持つ専門性を有効に活用し、行政運営の効率化を図ることを目的に市バスの運行業務を委託する。  
委託台数 市バス2台

### 2 学園広報経費

日本工学院北海道専門学校と共同で、父母及び生徒を対象とした相談会を開催し、市のPRを行い学生の募集活動を支援する。  
開催時期 10月・2月(2回)  
開催場所 全道各地

### 3 自治体職員協力交流事業費

海外の地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として受入  
研修期間 平成18年6月下旬～11月下旬  
研修内容 一般行政研修、観光行政研修、道内外視察等

### 4 国際交流推進事業費

国際交流関係団体等との連携  
国際交流のつどい、国際理解セミナー、外国人留学生との交流等  
外国人研修生の受入(登別デンマーク協会)支援

### 5 中学生海外派遣事業費

派遣先 デンマーク  
派遣人数 中学2年生5名、引率者2名  
派遣期間 平成18年8月中旬 約7日間  
事業内容 市役所表敬訪問、学校訪問、ホームステイ等での交流

### 6 国民保護協議会経費

国民の保護のための措置に関する施策を総合的に推進するため協議会を設置する。  
(仮称)登別市国民保護計画の作成

### 7 旅券事務費

7月から旅券(パスポート)の申請の受け付けと交付を行う。

### 8 公共施設水洗化事業費

公共下水道の供用開始区域内の公共施設について、年次的に水洗化を実施する。  
平成18年度実施箇所 光和園、桜美園、美園児童センター、富久寿園

### 9 登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金

姉妹都市の提携を契機に設立した協議会が実施する産業、経済、文化、スポーツ、福祉の交流事業の運営に支援する。  
・小学生絵画作品交流展示会(登別市及び白石市で開催)  
・登別・白石観光と物産展(刈田神社祭典時に開催)  
・白石農業祭への物産展参加(11月予定)  
・その他少年スポーツ交流事業など

### 10 東京登別げんきかい交流経費

夏のイベント 平成18年7月  
総会・情報交換会 平成18年11月

#### 11 ふるさと大使関係経費

平成18年2月1日現在委嘱者数 48名  
登別市のお話の宣伝、PRカードの配布、まちづくりに役立つ情報収集・提供

#### 12 札幌のぼりべつ会交流経費

札幌圏在住の登別にゆかりのある人たちの専門性を生かした登別への提言、協力を求める。

#### 13 市民憲章推進協議会助成金

- ・市民憲章推進に関する啓発活動
- ・幌別駅前花壇の運営・管理

#### 14 コミュニティ助成事業補助金

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織への支援を行う。

団体数 1団体（和太鼓 青嵐）

#### 15 知里幸恵フォーラム開催事業補助金

知里幸恵の生涯と業績を後世に伝えるため、活動している市民団体が開催するフォーラムへの支援。

#### 16 移住促進経費

首都圏等の団塊の世代を主な対象として、他自治体と連携・協力し、北海道への移住促進・民間による移住ビジネスの創出などにより、北海道全体の振興を図るため設立された「北海道移住促進協議会」への参加経費。

#### 17 広報広聴経費

市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進する。

- ・広報紙の発行  
「広報のぼりべつ」1日号（毎月発行）  
市民リポーター 4名程度  
広報モニター 12名
- ・広報ビデオの制作
- ・各種懇談会の開催  
地区懇談会、地区課題の把握、市長室フリータイム、市職員出前フリートーク等
- ・市民見学会の開催  
市民見学会、三市合同施設見学会

#### 18 市民ニーズアンケート調査経費

市民との協働のまちづくりを進めるにあたり、多様化する各年代層の市民ニーズを的確に把握するため、市民ニーズアンケート調査を行う。

#### 19 地域情報化の推進

##### 〇〇A化推進経費

従来からの事務処理の効率化を目標とした「〇A化」に止まることなく、住民の視点に立った行政サービスの質的向上と情報ニーズへの的確な対応を図る。

パソコンの配備

平成18年度導入 53台

Webサーバ、庁内LANの維持管理

##### 〇地域イントラネット維持管理経費

イントラネット（光ファイバーネットワーク）の維持管理

##### 〇地域情報センター維持管理経費

登別市地域情報センターの維持管理

## 20 電子計算機運用処理委託料

人材確保（電算事務従事者）の困難性の解消及び運用コストの削減のため、電子計算機の管理・運用等を全面的に民間委託する。

## 21 北海道電子自治体共同システム運用経費

電子自治体の実現に向けて、北海道と道内市町村が共同で開発した各種システムの共通基盤及び電子申請システムの運用を開始する。

## 22 共同電算調査研究負担金

西胆振各自治体による共同電算処理の可能性を検討するため、西いぶり廃棄物処理広域連合が実施する調査研究に参加する。

## 23 総合的な環境保全の推進

市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担と責任のもと、自主的、積極的に環境保全への取り組みを総合的・計画的に行う。

- ・環境基本計画の進行管理
- ・環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画、グリーン購入法に基づく調達方針の進行管理
- ・環境保全審議会の運営

## 24 男女共同参画社会づくりの推進

情報誌・小学校4年生向け啓発冊子の発行  
のぼりべつ男女平等参画懇話会などの市民団体の活動支援  
民間シェルター（NPO法人 ウィメンズネット・マサカーネ）への補助  
ジェンダー作文の募集

## 2 総務費 5 防災費

### 1 防災資機材購入整備費補助金

自主防災組織の防災活動に要する資機材の購入整備に対し補助金を交付  
交付予定数 1団体（新設自主防災組織分）

### 2 ハザードマップ作成経費

市民の生命・財産を守るため、災害による被害予測や避難場所を掲載した災害予想区域図を作成し、市民自らが災害による被害予測や避難時の判断等を行うとともに、市の防災活動に利用する。

災害の種類 大雨、地震、津波、火山  
平成18年度 印刷及び全戸配布

### 3 鉾山地区防災行政無線整備費

鉾山地区の防災や緊急時の連絡のほか、ネイチャーセンターふおれすと鉾山の総合学習や宿泊研修における緊急時の連絡用通信を確保するため、同センターに防災行政無線を整備する。